

特集
その1

地元開催！第135回秋田県種苗交換会



▲第135回秋田県種苗交換会用のポスター

種苗交換会とは？

9年ぶりに能代市で開催される、秋田県種苗交換会。明治11年（1878年）に第1回が開催されてから、毎年途切れることなく続き、今年で135回目を数えます。

元々は生産者が作物や種子を持ち寄り、お互いに交換し合うことを目的に開催されたものです。その後、規模や行事を拡大しながら回数を重ね、秋田県を代表する一大イベントとなりました。来場者数も年々増加し、前回能代市で開催された時には、期間中に約82万人が訪れています。

また今年のキャッチコピーは『大地の恵みを食し、健康に生きる。』となっております。これには「自然の恵みを生かし、農業を次世代に継承していく。」という思いが込められています。



地元開催の種苗交換会ですので、みんなで協力して成功させましょう！